

# のぞみふくいニュースレター

第23号 (H22. 3月)



(財) がんの子供を守る会 福井支部 発行  
TEL・FAX 0776-22-5132  
Email nozomi-f@mx3.fctv.ne.jp  
本部 URL <http://www.ccaj-found.or.jp/>  
支部URL <http://www3.fctv.ne.jp/~nozomi-f/>

春3月。Spring has come. 春は芽吹き、成長、明るく、暖かく、元気で、ピンクのイメージがします。

卒業シーズンですね。お子様の中で卒業式を迎えられた方、いらっしゃるでしょうか。おめでとうございます。

そして、21年度の決算月です。福井支部は、21年度の行事を何とかクリアしたつもりです。それも皆さまのご協力とご支援のおかげさまで。ありがとうございました。いろいろ研修や勉強をさせてもらった中で、都会の小児がん治療環境は、進んでいるといつも感じました。地方でも同じレベルの治療環境で、治療が受けれるようになればいいのという思いが常に付きまといました。今後は、もっと、県民の皆様へアピールし、小児がんの子供たち、入院中の子供たち・その家族のQOLをよくし、支援もできるように努力していくつもりですので、よろしくお願いたします。(文責：代表幹事。)

## 厚生労働省がん研究助成金 石田研究班 意見交換会に出席して

富山や新潟などに大雪が降った、2月6日・7日、東京は晴れていました。築地市場が近くにある中央区の聖路加国際病院に行きました。小児がんに関わった者には有名な細谷亮太先生のいらっしゃる、聖路加小児医療センターに来られてよかったと思いながら、会議に参加しました。内容は、「小児がん経験者のQOLと予後の把握およびその追跡システムの確立に関する研究」の内容を厚生省に発表する前に経験者本人、家族、支援者に意見を聞くというものです。

こういう会議に出るといつも思うことは、中央では、研究が進んでいて、研究者のいる病院では、実践もされているし、本当に患者さんのために考えてくださっているということです。福井では、小児がん専門の医師が少なく、現状では、同じような環境にするのは難しいでしょう。全国で統一の小児がん医療システムも研究されているので、早く地方でも都会と同じように最新の医療を進んだ医療環境で受けれるようになればと願わずに入られませんでした。

## 難病支援センター事業 小児がん定例相談・教育相談・ピアカウンセリングIN 福井大学医学部附属病院

福井大学医学部附属病院の教育研修センターの2階のセミナー室において医療相談、教育相談と、当会のピアカウンセリングを行いました。2名の小児がん患者のお母様が相談に来られました。どちらも差し迫った悩みをお持ちでした。この時期でもあり、進学の問題もご相談があったようで、教育に関する相談も必要性を感じました。今後は、教育相談も当会独自のカウンセリング会に取り入れようと思います。それから15歳以上の白血病などの血液疾患の患者さんは、小児科でなく内科で担当するのだということもわかり、小児科だけでなく、内科にも当会のことを知ってもらわなければいけないのだと気づきました。

## 3月～5月の福井支部活動予定・小児がん関連イベント予定 (予期なく変更されることがあります。)

3月 6日 (土) 福井支部 定例会(経験者の会「いこっさ」/お話タイム/ちよきちよききっず)

4月 3日 (土) 福井支部 定例会(経験者の会「いこっさ」/お話タイム/ちよきちよききっず)

4月 24日 (土) 福井県難病患者連絡協議会総会・行政との懇談会 AM10時～PM3時 福井県立病院 3階 講堂

5月 8日 (土) 福井支部総会 小児がんセミナー2010

PM1:30～4:30 於：福井駅東A O S S A 7階 けんみん活動センター706・707会議室

「小児がん患者と医師と支援者とのキャンプでのドキュメンタリー【風のかたち・ドクター編】と【がんの子供を守る会創立40周年の記録】のDVD鑑賞と意見交換会・いこっさ、雪うさぎの会交流会・子供と遊ぶボランティアさんのためのパルーンアート講習会(予定)」